

開催概要

第 67 回日本心身医学会近畿地方会・第 54 回近畿地区講習会 および
産業医研修会(後援:此花区医師会)

会期: 令和6年2月11日(日・祝)午前10時から17時まで

大会長: 奥見 裕邦 (医方会奥見診療所・大阪総合医学・教育研究会付属
親と子の診療所)

テ ー マ:「心療内科存亡の危機～どう生き残る?そしてどう伸ばす?～」

開催形式: 対面形式および後日オンデマンド配信 (産業医講習会の単位
付与は現地参加のみ)

会場: 此花会館梅香殿 大ホールおよび 4 階(402・403)の二会場
〒554-0012 大阪市此花区西九条5-4-24 ・

参加費

医師 :4000 円(学会員・非学会員とも)

医師以外:3000 円(学会員・非学会員とも)

学生 :1000 円(要証明書)

産業医研修会(医師、現地参加のみ):3000 円(先着順)

※講習会と研修会(現地のみ)ともに参加ご希望の方は、両方お申し込みく
ださい

参加登録締切:

近畿地方会一次締め切り(産業医講習会を除く):～大会当日まで

産業医講習会:～1月末日 (更新点数の締め切りのため)

Website: <https://www.ihoukai.jp/shinshin-igaku/>

FB:[Facebook](#)

単位取得

日本心身医学会認定心身医療専門医/日本心身医学会会認定医

地方会参加 5 単位、演者は2単位加算、地区講習会参加 3 単位 ・

日本心身医学会・日本心療内科学会合同心療内科専門医

地方会参加 5 単位、演者は2単位加算、地区講習会参加 4 単位
心身医学認定医療心理士
地方会参加 10 単位、演者加算 5 単位
講習会参加 5 単位、講師演者加算 5 単位
臨床心理士資格更新ポイント
参加者 2 単位、演者加算 4 単位
子どものこころ専門医 更新講習単位
シンポジウム1(分野 B) 臨床心理 WS(分野 C)
日本小児心身医学会認定医
参加者5点、演者加算 5 点

シンポジウム 1:心療内科と小児心身医療の邂逅 Vol2 (近畿地区講習会)
心療内科は、日本独自に発達した心身相関のある身体疾患を扱う分野であるが、保険制度の不利な状況や教育機関の少なさから必ずしも普及しているとは言い難い。一方で昨今行政の後押しもあり、内科系各診療科分野における内科/小児科間の移行期の充実が喫緊の課題となっているが、心身医学の分野は他分野に比しやや脆弱である。今回の企画では心療内科および心療小児科(小児心身医学)の各専門医と、両分野を経験した公認心理師を交え、互いの意見交換を通じて、両分野の協調体制および心身医学的移行期のあるべき姿を探る。

座長

村上佳津美 (堺咲花病院心療内科)

大堀 彰子 (帝塚山学院大学大学院/こども心身医療研究所)

演者

阪本 亮 (堺市立総合医療センター 心療内科)

吉田誠司 (大阪医科薬科大学小児科)

上村 泰徳 (近畿大学病院緩和ケアセンター)

シンポジウム2「心療内科に何ができる？他科、他職種からのメッセージ」

(近畿地区講習会)

心療内科が日本に誕生し、50年以上の歳月が流れた。しかしその発展は教育機関の不足、保険制度上の不利な状況、さらに医療者や一般市民の理解の乏しさなど、諸々の理由から普及しているとは言い難い。そして昨年大学の心療内科講座が消失するという本邦始まって以来の恥辱を心身医学の分野は経験した。そこで改めて心療内科に何を求められているのか、在野から意見を募りたいという観点から、心身医学に理解のある一般内科医 臨床心理士の専門家を交え、心療内科の在り方を探る
座長

蓮尾 英明（関西医科大学心療内科）

阪本 亮（堺市立総合医療センター 心療内科）

演者

浅野 麻衣（京都第二赤十字病院糖尿病内分泌膠原病内科）

梶原 都香紗（近畿大学病院緩和ケアセンター）

船津 英司（愛仁会千船病院消化器内科・消化器内視鏡センター）

敬称略

教育講演

「心身医療と漢方医学の隔たり ―心身相関と心身一如は同一なのか？」

東洋医学と心身医学は、西洋医学的に難治な疾患を対象とすることも多く、心身一如と心身相関の概念の類似性もよく指摘される一方、臨床現場での対応には大きな相違がある。本企画では心身医学と東洋医学双方を専門とする演者の発表および対話から、両者の共通点、相違点を見極め、その融合を図る。

座長

奥見裕邦（本会大会長）

演者

近藤 哲哉（関西医療大学）

千々岩 武陽（はこざき漢方内科・心身医療クリニック）

産業医研修会

1)「労働衛生関係法規と関係通達の改正：職場のメンタルヘルス対策の実際（事例を含め）―嘱託産業医でもできること―」

座長：深尾篤嗣（茨木市保健医療センター）

演者：石川俊男（いしかわストレスケアクリニック）

2)「労働者のストレスマネジメント管理―概日リズムの視点からの睡眠障害診断治療 ことはじめ―」

座長：西山順滋（関西医科大学心療内科学講座 総合診療科）

演者：重吉康史（近畿大学病院睡眠・体内時計外来）

3) 総合討論 座長：奥見裕邦（本大会長）

臨床心理ワークショップ：

心身症の治療において発達特性を考える必要があるのか

―自閉スペクトラム症の発達特性が背景にある回避・制限性食物摂取症患者の症例検討―

心身医学の分野では、心身症や行動異常を呈する被治療者に対して、心理的発達や行動・情緒の問題を検討し、臨床現場の対応だけでなく、日常生活の支援を図る必要性を時に必要とする。特に学校教育にて包含できない療育分野の役割は重要である。本企画では、自閉スペクトラム症の発達特性が背景にあった、回避・制限性食物摂取症の症例を提示し、療育分野の介入や、医療との連携を検討する

座長

大堀彰子 (帝塚山学院大学大学院、(一社)大阪総合医学教育研究会附属親と子の診療所/こども心身医療研究所)

演者

名倉美樹 (医療法人徳州会ホームケアクリニック札幌)

大原創太 (NPO 法人こくり)

上村泰徳 (近畿大学病院がんセンター緩和ケアセンター)